

## 上浮穴高校課外授業について

松山支部副支部長 小島 裕介

国境の長いトンネルを抜けると雪国 ではありませんでしたが。去る 11 月 15 日、冬の寒さが日々深まってきたこの日、上浮穴高等学校森林環境科へ土地家屋調査士の業務を知ってもらうための課外授業を行なってきました。時間帯は昼からの 5 時限目と 6 時限目の約 2 時間の時間をいただき講義を行ないました。

計 21 名の 2 年生の生徒が受講してくれたのですが、森林環境科においては平板測量を授業で習っていることもあり、一定の知識を持っている生徒の方々でした。そのため、授業の後半に触れてもらった、トランシットを使った実際に CAD に取り込む一連の流れの実習は特に興味深く体験してもらったように感じました。



本来の目的である、土地家屋調査士という業務を知ってもらうことについては、まず今回の授業以前にこの資格を知っていたのは 21 名中 1 名と、とても低い知名度でありました。

そういった状況の中、最初の 5 時限目に座学の授業として、一般的な土地家屋調査士の業務の概要を実際の業務を例に出しながらの説明、上浮穴高校が山間部であることもあり特殊な事例として山林の境界確認の事例の紹介、6 時限目の授業の準備も兼ねた具体的な登記事項等の調査書類の説明を行ないました。



6 時限目は実際の業務の紹介として、土地家屋調査士、依頼者(土地所有者)、隣接土地所有者に扮して境界確認立会の寸劇を行ないました。その寸劇ではブロック塀のどちらが境界なのかが分からないという場面を表現し、このような場合に土地家屋調査士がどのように考えて仕事を進めるかを生徒に考えてもらう状況にして、業務の紹介を行ないました。そして、確認ができた境界にはアルミプレートや金属鋸をコンクリートに打ち込む埋標の作業や、冒頭に紹介した測量器械に

実際に触れてもらった測量の実習も行ない、土地家屋調査士の業務の一例を体験してもらいました。

長いといえば長く短いといえば短く感じた約 2 時間で、土地家屋調査士の業務の内容や、魅力を伝えることができたかはわかりませんが、これから様々な職業に就く可能性をもった高校生へ職業の 1 つとして説明することは、普段の業務の立会などで関係者に説明することとは少し角度が違うので、誰かに何かを伝えることの難しさをあらためて感じ、自分自身としても良い勉強になりました。

最後になりますが、生徒から「土地家屋調査士の収入はどのぐらいなのか?」といった質問があったり、土地家屋調査士についての授業を今後も機会があれば受けてみたいかというアンケートで 20 名の方が受けてみたいと回答があったりしたことから、職業としての土地家屋調査士に多少でも興味を持ってもらえたのではないのかと思いました。こういった若い世代の方々が土地家屋調査士に興味をもち試験にも挑戦してもらえると、現在 受験者数や登録者数も減少し、平均年齢がほぼ還暦になっている土地家屋調査士の活性化にも繋がると思うので、この課外授業の活動を引き続いて行なっていくことによって、土地家屋調査士の明るい未来に一翼を担うことができればと思っております。

## H29. 11. 15 上浮穴高校課外授業アンケート結果

問1. 講師の先生のお話や説明はわかりやすかったですか？

1. よくわかった	1名	5%
2. だいたいわかった	15名	71%
3. どちらともいえない	1名	5%
4. 少しむずかしかった	3名	14%
5. むずかしかった	1名	5%

問2. また機会があれば、土地家屋調査士の授業を受けてみたいですか？

1. 受けたい	20名	95%
2. 受けたくない	0名	0%
3. 無回答	1名	5%

問3. 今日の授業を行うまでに、知っていた士業があれば、チェックをしてください。

弁護士	21名	100%
司法書士	8名	38%
行政書士	2名	10%
土地家屋調査士	1名	5%
弁理士	10名	47%
海事代理士	0名	0%
税理士	15名	71%
社会保険労務士	0名	0%

問4. 今日の授業を通じて、印象に残った言葉（キーワード）を3つあげてください。

- ・土地家屋調査士
- ・法務局
- ・平均1000万
- ・士（サムライ）
- ・2億3000万筆
- ・士業
- ・登記
- ・法務省
- ・測量
- ・境界
- ・土地
- ・士
- ・年収3000万
- ・かいてきな町づくり
- ・水平にたもつしんどさ
- ・境界杭
- ・一筆二筆

問5. 今日の授業についての感想や土地家屋調査士に対する質問等を何でもお聞かせください。

- ・ 今日の講義を聞いて、土地家屋調査士のことや仕事の内容などよく分かりました。
- ・ 自分は土地家屋調査士のことをよく知らなかったなので、お話を聞いたのでよかったと思っています。
- ・ 今日の講義を通じて土地家屋調査士の仕事のことが分かりました。来年からは、学校の測量もやろうと思っています。1人ではできないので仲間を探したいと思います。知らなかったことが知れてよかったです。
- ・ 聞いたときはなんかむずかしそうと思っていたが、実際はしんどいだけでむずかしくはなかったです。
- ・ 最初は難しいことばかりと思っていたが、わかりやすく教えていただいたので少しは理解できた気がする。
- ・ 今日の授業は、身近にない職業の勉強でとてもいい経験になり、あまり使うことのない測量ができ、とても楽しくできたと思います。
- ・ レーザーポイントをあてるのがむずかしかった。ぼうをあわせるのが大変。4 m 6 c mだったのでうれしかった。
- ・ 私の知らないことばかりでした。初めて聞く言葉がたくさんできたので難しかったです。しかし、私も将来必要になるかもしれないので役に立ちました。土地のことで困ったときには相談したいと思います。
- ・ 実際に測量の体験ができて良かったと思いました。平板測量よりやって楽しいなと感じました。話を聞いて難しい所もあったけど、少し興味を持ちました。もう少し詳しく聞いてみたいと思いました。
- ・ 初めての機械などもつかわせていただき貴重な経験になった。このような職業もあるのも知ることができました。
- ・ 今日は初めて土地家屋調査士について知ることができました。とてもためになり、おもしろかったです。
- ・ 今日の授業は最初は説明だったのでいまいち分かりませんでしたでしたが、体験をするととても楽しかったです。体験だけならまた受けたいです。
- ・ 土地家屋調査士というのを初めて聞きました。私はずっと建築士と一緒にと思っていた。でも、建築士でも土地家屋調査士になれることができることなどたくさんを知ることができました。どんな風な仕事か知れてよかったです。
- ・ じゅけんをうけるにあたってきょうざいひなどはどれくらいかかりますか？
- ・ 難しい仕事だと思った。きよりをはかったりするときは楽しかった。
- ・ 測るとき実際に機械を使って測ったのが楽しかったです。また、いろいろな話を聞かせてもらいとても勉強になりました。
- ・ 士の意味が今日分かりました。けっこう難しい仕事だなと思いました。機械があればかんたんなのでいいなと思いました。
- ・ ふだんはできない体験をたくさんすることができました。土地家屋調査士になってみたいと思いました。
- ・ ふだん知らない事やどんなことをしているのかなどたくさん学べた。
- ・ 私は土地家屋調査士という職業をきいたことがなかったので、深く知れるいい機会になったと思います。とても分かりやすかったです。将来進む道の一つとして考えたいと思いました。